

第13回 植物ウイルス病研究会

1. 日時：2018年3月28日（水）9：00～15：50（受付8：45より）
2. 会場：神戸大学滝川記念学術交流会館（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1）
(<https://www.cps-jp.org/pub/cps/COEreport080317/access-takigawa.pdf>)
3. 参加費：正会員2000円，学生会員：1000円（講演要旨代含む）
4. 参加申し込み：事前受付け（平成30年度日本植物病理学会大会会期中に会場内に事前受付でデスクを設けます）あるいは当日会場受付け

プログラム

- | | |
|------------------|---|
| 8:45-9:00 a.m. | 受付 |
| 9:00-9:05 a.m. | 開会の辞 |
| 9:05-9:35 a.m. | 座長：佐野輝男（弘前大学農学部）
「ラズベリー黄化ウイルスの花粉伝染」
磯貝雅道（岩手大学農学部） |
| 9:35-10:05 a.m. | 「ブドウとカキから新たに検出されたウイルス・ウイロイド」
伊藤隆男（農研機構果茶研） |
| 10:05-10:35 a.m. | 「ウメ輪紋ウイルスの宿主範囲と伝染リスク」
○鍵和田聡・西尾 健（法政大学生命科学部応用植物科学科） |
| 10:35-10:50 a.m. | ====Coffee Break==== |
| 10:50-11:20 a.m. | 座長：眞岡哲夫（農研機構北海道農業研究センター）
「イネ縞葉枯ウイルスの多発要因の解明と新たな防除対策への取り組み」
○奥田 充・柴 卓也・平江雅宏（農研機構中央農業研究センター） |
| 11:20-11:50 a.m. | 「青しその生産地におけるシソモザイクウイルスと媒介虫シソサビダニの発生生態」
○久保田健嗣 ¹ ・多々良明夫 ² （ ¹ 農研機構中央農業研究センター病害研究領域， ² 法政大学生命科学部応用植物科学科） |
| 11:50-13:00 p.m. | ====Lunch==== |
| 13:00-13:30 p.m. | 座長：三瀬和之（京都大学大学院農学研究科）
「ダイズ栽培化で選抜されたかもしれないクローバ葉脈黄化ウイルス抵抗性について」
○中原健二・山田哲也（北海道大学大学院農学院） |
| 13:30-14:00 p.m. | 「トランスジェニックモデル植物を用いた植物ウイルス病発症機構の解析」
寺田 忍 ¹ ・Bhor Sachin Ashok ² ・望月知史 ³ ・舘田知佳 ⁴ ・関根健太郎 ⁵ ・田谷萌香 ² ・Islam Shaikhul ⁶ ・中村瑞生 ² ・三好沙季 ¹ ・八丈野孝 ^{1,2,6,7} ・○小林括平 ^{1,2,6,7}
（ ¹ 愛媛大学大学院農学研究科， ² 愛媛大学農学部， ³ 大阪府立大学生命環境科学研究科， ⁴ （公財）岩手生物工学研究センター， ⁵ 琉球大学農学部， ⁶ 愛媛大学大学院連合農学研究科， ⁷ 愛媛大学分子カンキツ科学研究ユニット） |
| 14:00-14:30 p.m. | 「植物 RNA ウイルスの複製機構」
兵頭 究（岡山大学資源植物科学研究所） |

14:30-14:50 p.m. =====Coffee Break=====

14:50-15:20 p.m. 座長：大島一里（佐賀大学農学部）
「テンサイ黄化病とニンジン黄化病に關与するウイルスの生物学的・遺傳的特性」
○吉田直人・玉田哲男（ホクレン農業総合研究所）

15:20-15:50 p.m. 「ポストゲノム時代の病原ウイルス探索の現状と課題」
関根健太郎（琉球大農学部）

問い合わせ先： 京都大学大学院農学研究科 三瀬和之
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
TEL 075-753-6132
Email: kmise@kais.kyoto-u.ac.jp
岡山大学資源植物科学研究所 鈴木信弘
〒710-0046 倉敷市中央 2-20-1 TEL 086086-434-1230
E-mail nsuzuki@okayama-u.ac.jp

会場への交通： 阪急「六甲」駅から徒歩約 15～20 分。バス利用なら JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス 36 系統鶴甲団地行に乗車して「神大文理農学部前」下車。詳しくは（<https://www.cps-jp.org/pub/cps/COEreport080317/access-takigawa.pdf>）参照。

